

施策分析シート（平成25年度）

No1

施策名	交通安全対策の推進	施策No	11-06	部課名	防災都市づくり部交通対策課		
				課長名	平野 内線 2720		
関連部課名	防災都市づくり部道路公園課						
行政評価	分野	安全安心都市[]					
事業体系	政策	防災・防犯のまちづくり[11]					
目的	区内警察・交通安全協会・民間団体等が連携・協力体制のもとに、強力かつ効果的な交通安全運動を広く展開し、交通ルールの遵守・マナーの向上を図りつつ、交通事故のない安全で安心して住める街荒川を築いていく。						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (28年度)	
	交通事故件数	561	502	512	500	360	警視庁交通部「東京の交通事故」より（1月～12月）
	自転車交通事故件数 （内数）	323	276	301	300	180	
	交通安全協会会員数 （人）	3,500	3,500	3,500	3,500	4,000	交通ルール・マナーの向上、そして啓発活動の充実
自転車免許講習会参加者（人）	1,072	917	1,298	1,300	2,000	自転車免許講習会参加者の拡大を図る（現在累計約11,637人）	
現状と課題 （指標分析）	●交通事故全体に占める自転車事故が高くなっている。 ●「携帯電話しながらの運転」「傘を差しながらの運転」等のルール・マナー違反の自転車利用者が目立つ。 ●高齢者の関わる自転車事故が増加傾向にある。 ●交通安全運動の中心的役割を担っている交通安全協会の活性化と組織拡大が必要である。						
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ●交通ルール・マナーの遵守を徹底するための交通安全啓発活動を充実させていく。また、区・警察・交通安全協会・各関係機関・区民が一体となった幅広い交通安全運動を展開していく。 ●さらに、より効果的な交通安全施策等について交通安全協議会の中で審議し、その成果を交通安全施策に反映すると共に、道路の安全機能の整備充実を図り交通事故の防止に努めていく。						

施策の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	交通事故をなくし、安全な街を実現するため、今後も継続して推進する。

施策分析シート（平成25年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		23年度	24年度	25年度	26年度	
交通安全対策協議会 運営費	09-03-05	244	249	推進	推進	交通安全に関する総合的施策を審議する重要な協議会である。
交通安全協会補助	09-03-06	3,920	3,920	推進	推進	地域に根ざした交通安全啓発活動の中心的役割を果たしており、益々の活動が望まれる。
交通安全啓発費	09-03-07	4,332	5,851	推進	推進	区内三警察署等との連携により、交通ルール・マナーの遵守を呼びかけていく。
荷さばき駐車場設置費	09-03-10	2,587	2,655	改善・見直し	改善・見直し	民間の部分については、今後2年かけて廃止する。
交通安全施設整備費	09-05-09	18,215	21,144	継続	継続	区民の交通安全を確保するための整備費（すべり止め舗装、区画線標示、通学路標示）である。
交通安全資材	09-05-10	1,607	1,746	継続	継続	区民の交通安全を確保するための資材購入費（カーブミラー・防護柵・標識等）である。
合 計		30,905	35,565			